

JICA 海外協力隊員 が 副知事 を 表敬訪問 しました！

令和7年11月25日(火)、独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊として出発する佐藤佑樹(さとう ゆうき)さん、上坂瑞(うえさか みずき)さんの2名が 鷲頭副知事を表敬訪問しました。



● 出発隊員 ●

佐藤さんは令和7年12月から2年間、青年海外協力隊として東アフリカのマダガスカルに「コミュニティ開発」という職種で派遣されます。配属先は農業・畜産省の出先機関であるアンブジャチム農業・畜産支所です。

現地の農家の収入拡大を目的として、生活実態や家計を調査・把握し、収入創出・向上のための活動や研修の実施支援を行います。

マダガスカルは世界一の米消費国で、米の年間消費量は日本の2倍以上です。そんなマダガスカルのお米は水分が少なくちょっとパサパサした感じなので、「コシヒカリ」「いちほまれ」といったもっちりとした日本米を現地の人に紹介したいと話していました。

佐藤 佑樹さん



上坂 瑞さん



上坂さんは令和8年1月から2年間、中央アジアのタジキスタン共和国に派遣されます。子どもたちに進学や就職を有利にする知識や技術を伝えることを目的とした「青少年活動」という職種です。

配属先のシャリナフ青少年センターは学校教育の補完を目的として運営されており、そこでは主に英語コースの運営を担当します。ダンスなど取り入れて授業を行い、英語を学ぶと世界が広がるよということを楽しく教えたいと意気込みを語っていました。また折り紙など日本文化の紹介もしたいと考えているそうです。

鷲頭副知事は「世界に挑戦し、世界との架け橋になることは福井の誇りです。現在世界情勢は必ずしも安定してはませんが、その中で現地の人との人的な繋がりを持つことは福井の財産になります。顔の見える関係は宝物です。向こうで過ごす2年間は、長いようできっと短いと思います。頑張ってください。また元気に福井に戻ってきてください。」との言葉をかけられました。



左から
上坂さん、鷲頭副知事、佐藤さん